

# 日向市総合体育館整備基本計画

【 一 部 抜 粋 】

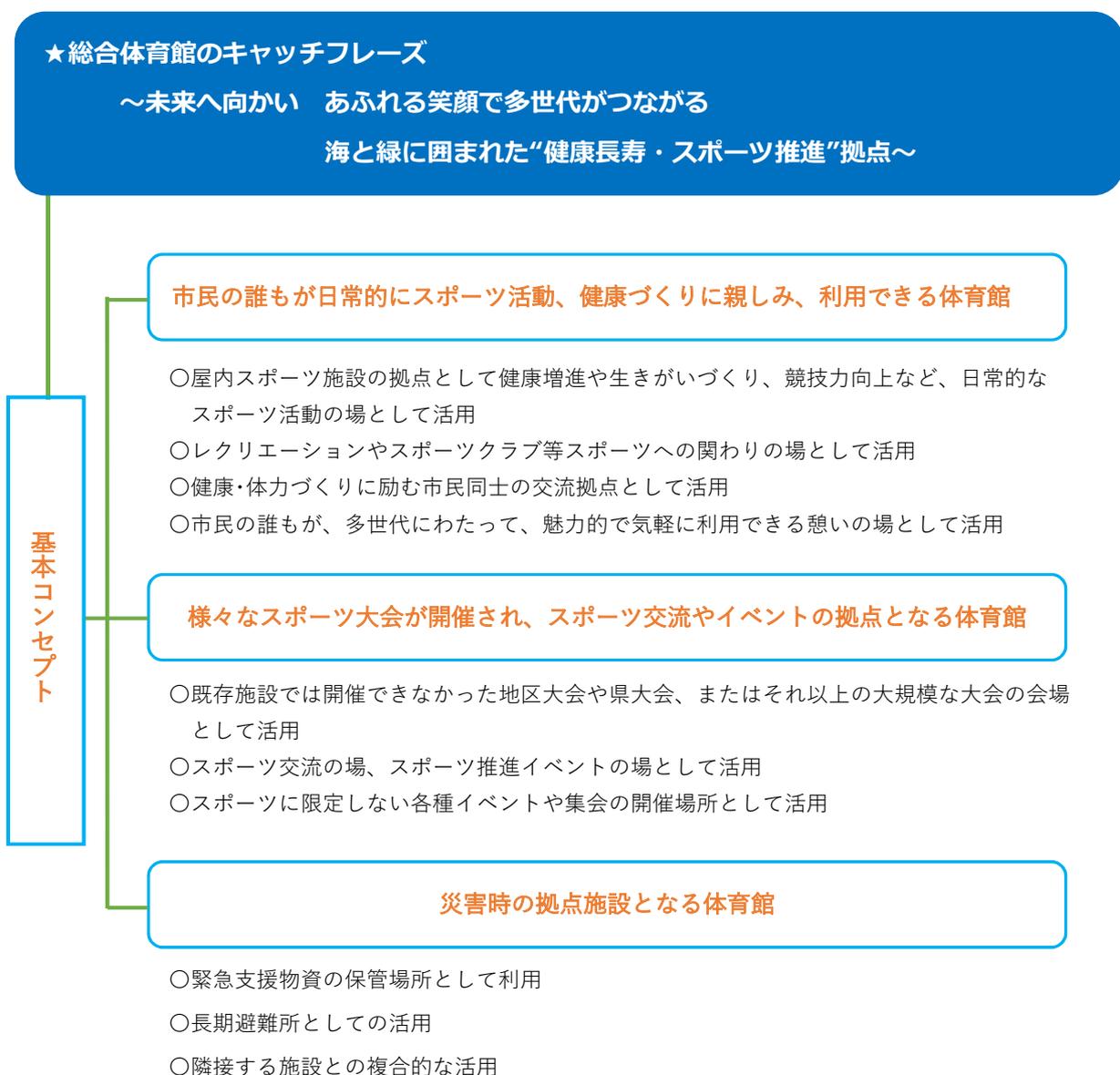
令和4年4月

日向市

## 2 基本コンセプト

総合体育館は、将来にわたって、子どもから高齢者まで広くスポーツや健康づくりに親しむことができる拠点施設として、今後求められる機能や役割を踏まえ、多くの市民に愛される体育館を目指し、基本構想では、キャッチフレーズ、基本コンセプトを定めました。

その後、日向市と宮崎県立日向高等学校との包括連携協定に伴う課題型学習（令和元年度～2年度）において、「わたしのまちの体育館」をテーマに、総合体育館整備における課題や望ましい機能について調査研究を行いました。その結果、スポーツをする機会が少ないと思われる子育て世代やスポーツをされない方なども、魅力的で気軽に利用できる体育館を目指し、市民の誰もが安心して楽しく利用できる憩いの場としての活用を図ります。



## 第3章 整備方針

施設の規模及び整備方針の検討に当たり、市民検討委員会、市民アンケート調査、各競技団体へのヒアリング、基本構想との整合性の確認などを行い、必要諸室等の内容、想定面積や施設全体への配慮事項等を設定しました。

### 1 必要諸室等の内容

#### 1-1 必要諸室等

##### (1) 競技機能

###### ①アリーナ

- 公式試合ができる基準の面数で、バスケットコート2面又はバレーボール3面の広さを想定し、天井高は、多種目に対応できるものとします。
- 面積は、約1,800㎡(47m×38m)で、天井高は、13m程度で計画します。
- 各種地区大会や県大会等の会場、スポーツ交流やイベントの場として利用することを想定した機能とします。
- パラスポーツにも活用できるよう、床材等に配慮します。

###### ②武道場（柔道場、剣道場）

- 柔道場、剣道場を統合し、計2面を設置します。
- 柔道場の畳は1面分を固定とし、その他はフレキシブルに利用可能な施設とします。
- 通常は、弾力性のあるフローリング使用とし、空手、ヨガなどで利用する際は、畳やマットを敷き、利用できるものとします。

###### ③倉庫（器具倉庫含む）

- アリーナおよび武道場に近接して配置し、利用形態に応じた運動器具、備品などを効率的に収納できるよう、十分な面積を確保します。
- 外部との搬出入動線に配慮します。

###### ④空調設備

- 熱中症対策など利用者の安全に考慮し、バドミントンなどの競技の実施にも配慮した空調設備を設置します。

###### ⑤ステージ

- 式典や大会等の本部席としての活用を図ります。

## (2) 観覧機能

### ①観客席

- 固定席 500 席程度とし、大規模なイベント開催時などにはアリーナ部分への仮設椅子を設置します。
- 車いす利用者の専用スペースを設けるとともに、観戦する全ての人に優しい施設として、段差や傾斜はできるだけ緩やかなものとします。

## (3) 管理・サービス機能

### ①更衣室（ロッカー）、シャワー室、トイレ

- 男女別に更衣室、シャワー室を整備し、車いす利用、親子利用にも配慮した、誰もが利用しやすい更衣室を設置します。
- 障がいのある人や高齢者、乳幼児連れの人などに配慮したトイレを設けます。バリアフリートイレは各階に設け、ユニバーサルシート、ベビーチェア、オストメイト対応設備等を設置します。
- 車いす利用者が使いやすいよう広めのシャワーブースを設置するなど、誰もが安全で使いやすい空間とします。

### ②会議室・控室

- 市民や各種団体による活動・交流、各種イベント・大会運営時の利用など、幅広い用途で利用できる会議室・控室を整備します。また、合宿利用や大会利用時には、研修会での利用、大会役員室、選手控え室等、多目的な使用ができるようにします。

### ③エレベーター

- エレベーターは安全なつくりとし、ユニバーサルデザインに配慮した広めのエレベーターを設置します。

### ④エントランスホール、ロビー、通路等

- エントランスホール、ロビー、通路は、様々な目的で集まる利用者の談話・交流・休憩スペースとして利用しても動線に支障がないよう十分な広さを確保します。
- スポーツ情報、市民活動の発表の場となる展示スペースなど、市民活動を支援するスペースを適宜設置します。

#### ⑤事務室・放送室・救護室

- 体育館の管理機能を持つ事務室は、利用者・観客動線や管理動線なども考慮し、配置します。
- 大会開催時や音響使用時に必要となる放送機能を持つ放送室を設置します。アリーナ全体の状況が分かるように、アリーナに面する形で配置します。
- 救護室は、緊急時の簡易な応急処置が行えるように設置します。医療関係者の常駐は行わないものとします。

### (4) 健康増進、交流機能

#### ①多目的室（スタジオ）

- 可動間仕切りを設置するほか、壁面には可動式か固定の鏡を設置し、各種ダンスや健康体操など音響に配慮する活動に対応できるように防音仕様とします。

#### ②ウォーキング・ランニングコース

- 観客席の後方に周回可能なウォーキングコース・ランニングコースを整備します。
- 観覧者とウォーキング・ランニングコース利用者の動線に配慮して計画し、手すりなどの安全対策や床材に配慮します。

#### ③トレーニング室

- 利用者の健康、体力の保持増進を目的とし、広くニーズに応えるトレーニング機器の設置やストレッチ運動が可能なスペースを設けます。

#### ④交流室（キッズルーム）、授乳室

- 利用者の休憩場所や、市民が気軽に訪れ、交流する場として設置します。
- キッズルーム、託児室としての機能を持ち、幼児を持つ保護者のスポーツ活動を支援するスペースとして設置します。
- 授乳室を設置します。

### (5) 災害時の拠点機能

#### ①備蓄倉庫、非常用電源設備、非常用給水設備等

- 指定避難所として、災害発生時の応急・復旧に必要な備品・資機材を保管する防災備蓄倉庫、非常用電源設備、非常用給水設備（飲用・雑用水）、緊急時排水貯留槽を設置します。

## (6) その他の機能

### ①無線 LAN 等の ICT 整備

- 無料無線 LAN（フリーwifi）を整備し、タイムリーな情報の送受信ができる環境を整備します。
- web 予約システム、キャッシュレス決済等を導入し、市民の利便性の向上と運営の効率化を図ります。

### 1-3 必要諸室等の想定延床面積

必要諸室等の想定延床面積は以下のとおりです。

導入機能	設 備	想定 延床面積 (㎡)
1 競技機能	アリーナ	2,700
	武道場	
	倉庫（器具倉庫含む）	
2 観覧機能	観客席（2階：固定席500席程度）	300
3 管理・サービス機能	更衣室、シャワー室、トイレ	1,000
	会議室（控室）	
	エントランスホール、ロビー	
	事務室、放送室、救護室	
4 健康増進、交流機能	多目的室（軽スポーツ、ダンス等）	1,100
	ウォーキング・ランニングコース	
	トレーニング室	
	交流室（キッズルーム）、授乳室	
5 災害時の拠点機能	備蓄倉庫	100
6 機械室等	機械室等	200
7 その他	廊下・通路等	1,100
計		6,500

※上記の各諸室及び概略面積を基本として、詳細設計を行っていきませんが、施設の構造や配置、維持管理・運営など、より効率的な施設とするため、基本設計、実施設計を進める中で、諸室の配置や面積の変更等を行っていきます。

## 4 施設配置

### 4-1 施設配置の計画

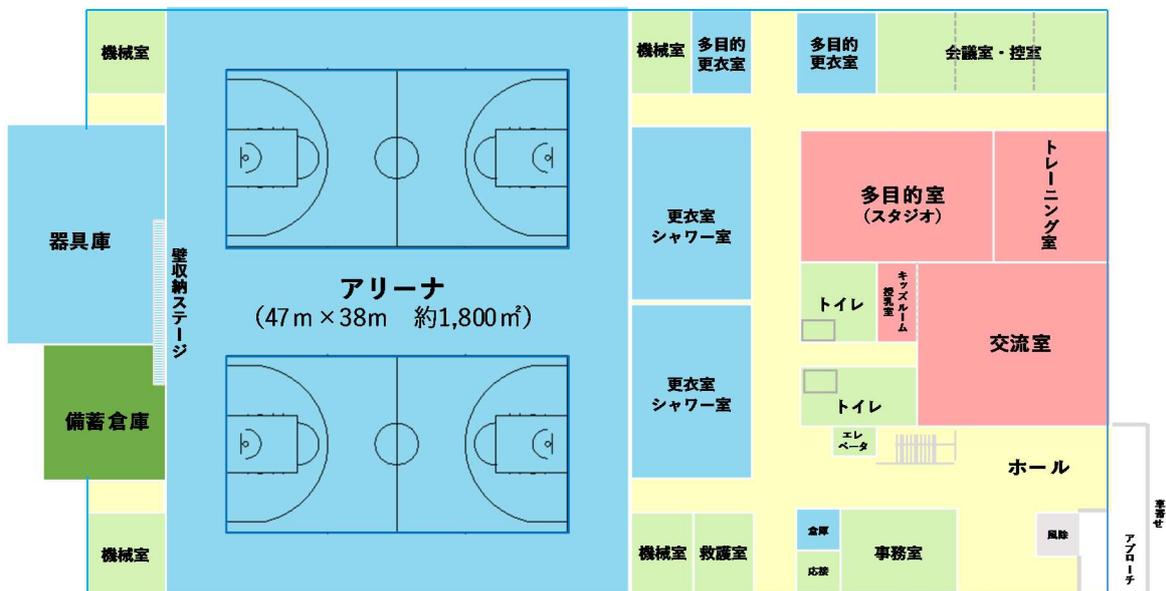
基本構想に基づき、総合体育館は、現在の大王谷運動公園水泳場に整備し、芝生広場を駐車場として整備します。

整備に当たっては、自動車・歩行者の動線に配慮し、一般利用者、観客、維持管理関係者など、誰もが安全にアクセスできる環境を考慮しながら、各施設や関連諸室の配置計画を行います。

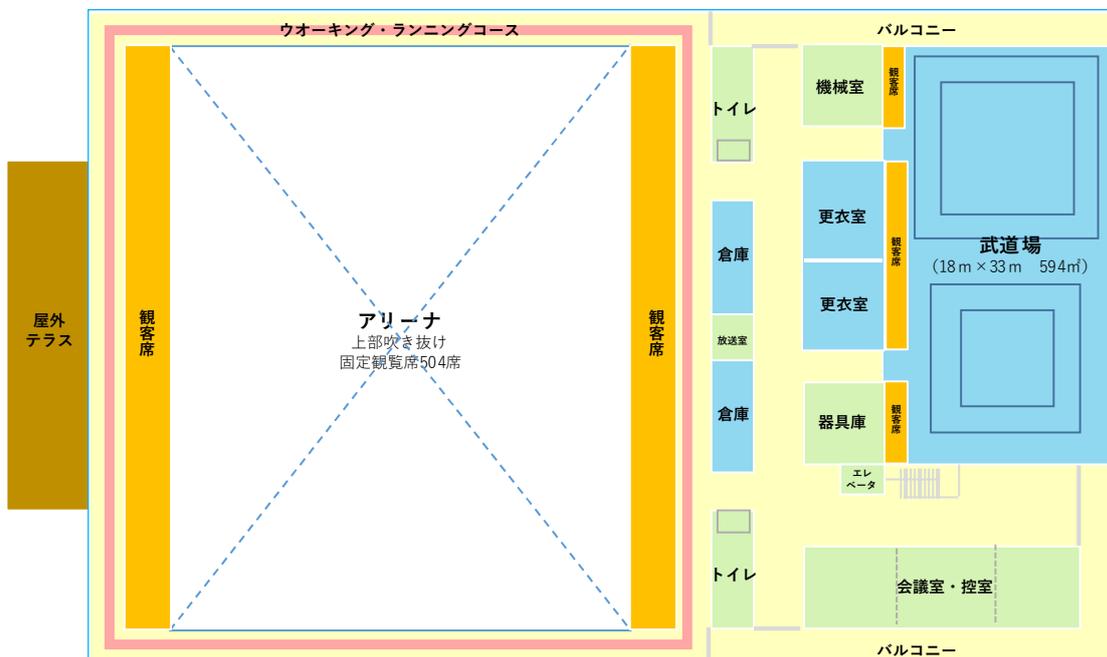
また、大規模災害が発生した際には、アリーナや備蓄スペースなどから屋外へ出入りしやすいよう、避難者の受け入れや緊急物資等の搬入出の動線に配慮した配置計画を行います。



■施設配置（案）



■ 1階平面図 (案)



■ 2階平面図 (案)



上記の図は、基本構想を元に敷地条件等を考慮して作成したイメージ図であり、今後の基本設計、実施設計において変更になる場合があります。

## 5 施設整備において配慮すべき事項

---

### (1) ユニバーサルデザインの推進

年齢や性別、国籍を問わず、誰もが安心して利用しやすい施設として、段差の解消、エレベーターの設置、バリアフリートイレの設置、音声案内やサイン、多言語対応など、ユニバーサルデザインに配慮した施設とします。

### (2) 障がい者スポーツ等への配慮

誰もが使いやすいユニバーサルデザインを推進し、高齢者や障がい者の方にも十分に配慮した人にやさしい施設とします。障がい者スポーツの実施に配慮し、更衣室、シャワー室、トイレ等、障がい者等が利用しやすい施設環境を整えます。

### (3) アクセスへの配慮

自家用車以外で訪れる利用者の公共交通機関としては、ぷらっとバスや路線バスがありますが、便数が限られていることや施設へ直接乗り入れていないことから、ぷらっとバスを大王谷運動公園内へ乗り入れるものとし、利便性の向上を図ります。

駐車場容量を超える大規模なイベント等の開催時には、公園外の駐車場の確保や駅とシャトルバスを運行することによって対応するものとします。

### (4) 環境共生・ライフサイクルコストへの配慮

省エネルギーを考慮した信頼性の高い設備を計画するとともに、地球環境に配慮し、自然エネルギーの利用（雨水・中水利用、自然換気、自然採光等）、CO<sub>2</sub>削減等を実施します。

建築計画と併せて、メンテナンスのしやすさや施設の長寿命化に配慮し、ライフサイクルコストの低減を図ります。また、地元産木材について、内装材や建具等の利用を図ります。

### (5) 水泳場、芝生広場の代替措置への配慮

総合体育館の整備に伴い、水泳場が廃止されることから、小学校の夏休み期間中に一部の学校プールを開放します。

また、芝生広場を駐車場として整備することから、芝生広場を主に利用されているグラウンドゴルフについては、今後、近隣の公園等の活用を検討します。